

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	シナリオ I	
科目基礎情報					
開設学科	声優・演劇科	コース名	声優コース	開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	60時間
単位数	2単位			授業形態	実習
教科書/教材	適宜、原稿・台本等を配布する。				
担当教員情報					
担当教員	渡会一仁・安倍康幸	実務経験の有無・職種	有・ディレクター、音響技術者		
学習目的					
<p>フリートーク、原稿読み、音声ドラマ等の台本などを通して、作品内容の適切な理解と、それに基づく魅力ある表現の習得。台本の精密・的確な読解。</p> <p>録音・放送スタジオにおける作業、音声業界の仕事の仕方と必須のマナーなどを習得する。</p>					
到達目標					
<p>演者・表現者としてふさわしい、作品の内容を深く理解する力と、協働していく上で適切な表現力の獲得。プロフェッショナルとして俳優・声優活動するために必要な、取り組み姿勢やマナーなどを身につける。持続的にパフォーマーとして生きていく基礎力を獲得する。</p>					
教育方法等					
授業概要	自由なテーマ、あるいは設定されたテーマに沿って、与えられた設定時間を意識しながら、フリートークを行う。ナレーション原稿を様々な状況設定で読み、その技術を理解する。オーディオドラマを演じる稽古を通じて、脚本からストーリーやテーマを読み取り深く理解する力をつける。演技プランを考えキャラクターを設定し、共演者と相互作用しながら演技をする。				
注意点	<p>実習講座のため、何より出席し演習に参加することが重要。適宜に録音制作を盛り込むので、配役などクラスに対する責任感を大切にす。ペーパーテストなどは行わない方針だが、講師の目から見た個々人の能力、向上心や取り組み方を評価していく。演習を通じて内容については柔軟に見直していくため必ずしもシラバス通りに進行しないが、より良い実習になるようお互いに努力していく。</p> <p>授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。</p>				
評価方法	種別	割合	備考		
	平常点	50%	演習に取り組む態度、積極性、チームワークなど、参加意識を見る。		
	技術点	50%	それぞれの課題・制作を通して、理解力、表現力を評価する。		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	ガイダンス・自己紹介	現場の演出・技術が演技者を指導する目的を知る。お互いを知るため3分程度のフリートーク実践。			
2回	フリートーク 1	一人で聞き手を意識した自由なトークを指定時間を守って行う。時計などに頼らない時間感覚を養う			
3回	フリートーク 2	一人で聞き手を意識した自由なトークを指定時間を守って行う。時計などに頼らない時間感覚を養う			
4回	フリートーク 3	一人で指定されたテーマに沿って即興でトーク。構成を考えつつ時間に収める感覚を養う			
5回	フリートーク 4	一人で指定されたテーマに沿って即興でトーク。構成を考えつつ時間に収める感覚を養う			
6回	ナレーション 1	全員に原稿を当日渡し。読み込み、チェックなどナレーションの基礎を学ぶ。スタジオマナーなど			
7回	ナレーション 2	全員に原稿を当日渡し。読み込み、チェックなどナレーションの基礎を学ぶ。スタジオマナーなど			
8回	ナレーション 3	全員に原稿を当日渡し。読み込み、チェックなどナレーションの基礎を学ぶ。スタジオマナーなど			
9回	ナレーション 4	全員に原稿を当日渡し。読み込み、チェックなどナレーションの基礎を学ぶ。スタジオマナーなど			
10回	ナレーション 5	全員に原稿を当日渡し。読み込み、チェックなどナレーションの基礎を学ぶ。スタジオマナーなど			
11回	ナレーション 6	全員に原稿を当日渡し。スタジオ録音とプレイバックでナレーション技術の確認			
12回	トークセッション 1	当日数人の組み合わせを作り与えられた設定でアドリブトークする演習。対話の技術を掴む			
13回	トークセッション 2	当日数人の組み合わせを作り与えられた設定でアドリブトークする演習。対話の技術を掴む			
14回	トークセッション 3	当日数人の組み合わせを作り与えられた設定でアドリブトークする演習。対話の技術を掴む			
15回	トークセッション 4	トークセッションのまとめ。（録音とプレイバックの予定）			